



取組で未来をクリエイトする

FULUHASHI
EPO

2009年 グローバル・コンパクト 4分野「10原則」への取組み

フルハシEPO株式会社
FULUHASHI EPO CORPORATION

2010年2月



取組で未来をクリエイトする

FULUHASHI
EPO

4分野「10原則」への取り組み

2008年4月1日社名をフルハシ工業より「フルハシEPO株式会社」へ変更いたしました。EPOは、地球の生態系、環境を表す「Eco・Environment」と 港を表す「Port」から名づけました。

当社は『環境』を軸に、GC10原則に基づき世界の持続可能な発展に寄与します。

代表取締役 山口 直彦

1. 4つの分野「人権・労働・環境・腐敗防止」を目指した『**CSR**(企業の社会的責任)活動』
2. 環境経営としての『環境』への取り組み
3. 今後の課題と活動について



1. CSR活動

GCの4つの分野「人権・労働・環境・腐敗防止」を目指したCSR活動のため、当社は経営トップのもと、3つ基本方針『社会とともに』『環境とともに』『社員とともに』を掲げています。

法令・倫理規範を遵守し、安全性と品質を追求するとともに経営の効率化、透明性を常に意識し、お客様・お取引先・社員・地域社会・株主を含む全てのステークホルダー（利害関係者）に対してメリットある経営を行うことで社会的責任を果たします。



1－①. CSR活動

『環境とともに』(10原則「環境」)

地球環境の保全と再生に取り組むべき重要な経営課題と捉え、事業における環境負荷低減活動に主体的に取り組む、資源の有効活用により持続可能な社会づくりにベストを尽くします。

- ・社内環境保全活動(環境理念・方針、委員会等)
 - ・エコステージ(環境経営評価・支援システム)更新
 - ・あいちCO2削減マニフェスト登録(2006年3月)
 - ・「企業の森づくり」活動における協定締結(2008年9月)
 - ・県民グリーン運動への参加(4工場で緑化推進活動を実施)
 - ・NPO法人全国木質資源リサイクル協会連合会副理事
 - ・「エコモチ」*活動への登録参加(2010年1月活動開始)
- による社員の環境保護活動の促進

*エコモチとは、社員が課題として挙げたエコ活動の実践により、NPO等へ寄付するという企業の社会貢献活動。



取組で未来をクリエイトする

FULUHASHI
EPO

1－②. CSR活動

『社会とともに』

(10原則「人権」・「労働」・「環境」・「腐敗防止」)

お客様、お取引様、地域の方々など社会の様々な方とコミュニケーションをとり、お客様の立場に立って、誠実に製品やサービスをお届けします。お取引先へ対し、相互計発展・成長のため、公正・透明な取引を行います。また地域社会の一員として積極的に社会貢献活動を展開しています。

- ・地域清掃活動への参加
- ・「企業の森づくり」活動における県との協定締結(2008年9月)
- ・県民グリーン運動への参加(主要拠点である4工場で緑化推進)
- ・NPO法人全国木質資源リサイクル協会連合会副理事
- ・社員のボランティア活動参加への推進
- ・「エコモチ」活動への登録・参加(2010年1月活動開始)によるNPO/NGOへの寄付活動による児童労働、差別・貧困社会への援助



1－③. CSR活動『社員とともに』（10原則「人権」・「労働」）

社員一人ひとりの多様性を尊重し、働き甲斐をもって自己実現に向かう人材育成を目指します。ワークライフバランスに配慮し、働きやすい職場環境づくりを進めています。

また、行動指針カードを社員全員へ配布し、社員が経営理念を理解し、持続可能な社会の実現に貢献すべく、考え方・行動のあり方を徹底しています。

- ・育児休業、介護休業制度、福利厚生制度の充実
- ・カジュアル フライデー、ノー残業デーの実施
- ・オアシス運動（より良い職場環境づくり活動）の促進
- ・行動指針カードの配布、携帯



取組で未来をクリエイトする
FULUHASHI
EPO

2. 環境経営としての 『環境』への取り組み (10原則「環境」)

- ①環境経営方針
「環境理念と環境方針」
- ②全社で取り組む環境経営
- ③事業活動で取り組む環境経営



取組で未来をクリエイトする
FULUHASHI
EPO

2－①. 環境理念

～フルハシEPOは業務に密着した
環境理念を経営トップのもと、定
めています～

『私たちは、地球環境と子どもたちが安
心して暮らす未来のために資源の有効
利用、リサイクル、グリーンな資源・エネ
ルギーによって持続可能な社会の実
現を目指します。』



取組で未来をクリエイトする

FULUHASHI
EPO

2－①. 環境方針

フルハシEPOは事業の遂行にあたり、よりグリーンな経営・生産活動を目指す取り組みの基本方針として以下を定めます。社員への周知徹底に努め、公開できるようにしています。

- ①事業活動、製品及びサービスが環境に与える影響を適確に捉え、技術的・経済的に可能な範囲で環境目的・目標を定め、見直しを行い、パフォーマンス及び環境マネジメントシステムの継続的向上を図ります。
- ②環境関連の法令及び組織が同意する適用可能なその他の要求事項を遵守します。
- ③環境への汚染の防止につとめ、いっそうの環境保全に取り組みます。
- ④この方針を達成するために、全従業員をあげて環境活動を推進し、「環境品質管理委員会」がこれを支援します。
- ⑤この方針は広く一般に公開します。



2－②. 全社で取り組む環境経営

1. 環境品質管理委員会
2. エコステージ取得
3. あいち地球温暖化防止戦略
CO2排出削減マニフェスト登録
4. 企業の森づくり活動
(間伐体験の実施)
5. 一人ひとりの環境意識を向上
エコモチ活動へ登録参加



取組で未来をクリエイトする
FULUHASHI
EPO

2-②-1. 環境品質管理 委員会

- ・全社の環境保全活動を推進
- ・環境情報発信、地域清掃活動参加の推進



委員会・全社
発表会の様子



地域清掃活動への参加





取組で未来をクリエイトする
**FULUHASHI
EPO**

2-②-2. エコステージ

「エコステージ」とは・・・愛知県名古屋地区で生まれた環境経営を評価・支援するシステムであり、ISO14001の意図を踏まえつつ環境改善と経営を結びつけ、段階的な発展を評価・推進します。フルハシEPOは全社でエコステージの導入を推進しています。

フルハシEPOのエコステージ1取得拠点

- ・愛知第一工場(春日井)
- ・飛島工場(現飛島リサイクルランド)
- ・愛知第二工場(弥富)
- ・本社
- ・本部





取組で未来をクリエイトする
FULUHASHI
EPO

2-②-3. あいち地球温暖化防 止戦略 CO₂排出削減マニフェスト登録

- ・フルハシEPOがCO₂排出削減のために
2010年度末までの期間で取組む内容
を愛知県へ宣言
- ・環境品質管理委員会を中心に活動中



神田知事より登録証授与



間伐材を利用した登録証



環境で未来をクリエイトする

FULUHASHI
EPO

2-②-3. CO2排出削減マニ フェスト

- ・全社のCO2排出量を、2010年度末までに1,000トン削減
- ・クールビズ、ウォームビズの徹底
- ・社員の地域・家庭における環境保全活動と社会貢献「エコモチ」の推進
- ・社内提案制度による環境改善の推進(2010年度末までに100改善提案)
- ・工場・事業所での設備交換時の省エネ設備・機器の導入及び水平展開
- ・ハイブリッド自動車・低公害車への入替え(現在保有車両の100%達成)
- ・取引業者に対するグリーン配送の要請(全納入業者の50%)
- ・新たなバイオマス燃料の開発・生産の促進
- ・ETC車載器を、2010年度までに全車両に導入(現在導入割合98%)
- ・社員へのエコドライブの徹底(社内広報による呼びかけ)
- ・建設廃棄物のリサイクルの推進
- ・木質バイオマス燃料の製造・販売促進(木質バイオマス燃料50万トン販売)
- ・社員の森林系ボランティアへの参加推奨(2010年度末までに植樹1,000本)
- ・県民グリーン運動の推進(主要拠点である4工場で緑化推進)
- ・教育機関への出張講座の協力・企画(2010年度末までに250回)
- ・新エネルギーに関する研究開発に参加(2010年度末までに2テーマ)
- ・製造工程における省エネ化提案事業の推進(2010年度末までに50提案)



取組で未来をクリエイトする

FULUHASHI
EPO

2-②-4. 「企業の森づくり」活動

2008年9月11日、フルハシEPOは、CSR活動の一つとして、愛知県とその県有林の一部を「企業の森づくり」活動のフィールドとして活用させていただく協定を締結しました。

フルハシEPOでは、60余年の社業で培ったバイオマス利用事業に、「生物多様性」の観点を加え、社員による森林の整備だけでなく、活動に携わる人々の情報交換や人的交流を通して、県と県民・企業が協働しあい、未来に残る森づくりに取り組んでいます。

- 実施期間： 2008年9月11日～2011年9月
- 場 所： 愛知県豊田市羽布町 羽布県有林のうち約5ha
- 活動内容： ・森林環境調査(植生調査・照度調査など)
・社員およびその家族のボランティアによる間伐・植林体験の実施
・下草刈・除伐・間伐などの森林整備
・「企業の森」をフィールドとした環境学習の実施



取組で未来をクリエイトする
FULUHASHI
EPO

2-②-4. 企業の森づくり活動 間伐体験の実施





取組で未来をクリエイトする

FULUHASHI
EPO

2-②-5. 一人ひとりの環境意識を向上

1) 社用車を低公害車へ

- ・ハイブリット車、低公害車の導入
- ・日よけを導入してエアコン使用抑制
- ・車内の整理整頓を行い余計な荷物を積まない
- ・エコドライブ推進(社内広報にて推進)



2) オフィスでは

- ・クール・ビズ、ウォーム・ビズの実施
「6月～9月はクールビズ」「12月～3月はウォームビズ」
- ・電気使用量、紙使用量の把握によるCO2削減意識の向上
- ・ガソリン使用量の把握による燃費向上・エコドライブの推進
- ・ゴミの計量によるリサイクル意識の向上





取組で未来をクリエイトする

FULUHASHI
EPO

2-②-5. 一人ひとりの環境意識を向上

3) エコモチへの参加による社会貢献

・「エコモチ」とは...エコモチは、日常生活で自らのレベルや関心に合わせてエコ活動の目標を登録し、実践できたかどうかを申告するという企業向けWEBシステムです。社員のエコ活動を「見える化」し、CSR活動を活性化させています。

申告されたアクションの数に応じてシードという単位のポイントが社員に発行され、シードは環境保護、貧困撲滅、教育支援、医療支援などの活動を行う12のNPO／NCFに社員の希望で分配、寄付されます。

<企業メニュー>

- ・業務の改善提案書を提出
- ・ゴミ分別の徹底
- ・4Sを心がけ、電気機器の小さな電源オフ
- ・エコドライブ
- ・ウォームビス、クールビズの実施





取組で未来をクリエイトする
FULUHASHI
EPO

2ー③事業活動で取り組む環境経営

1. 地球環境事業部
2. バイオマテリアル事業部
3. 環境物流事業部
4. 新分野への挑戦・発展



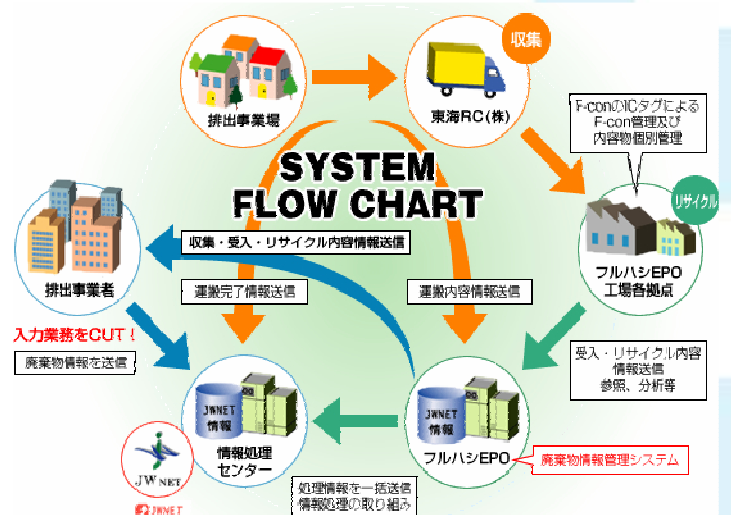
取組で未来をクリエイトする
FULUHASHI
EPO

2ー③事業活動で取り組む環境経営

1. 地球環境事業部

- ・建物の解体現場から出る廃棄物の分別・回収
(エアコンのフロン回収も実施)
- ・建物の建築現場から出る廃棄物の分別・回収

～ガラス、金属、木、瓦、プラスチック、コンクリート等、建設の際に生まれるさまざまな資材を、再資源化しリサイクルしています～





2ー③事業活動で取り組む環境経営

2. バイオマテリアル事業部

1) 木質リサイクル

- ・木質バイオマス燃料(石油代替燃料)の製造・販売
- ・合併によるバイオマス発電事業へ進出(2008年)
- ・紙・パルプ・マルチングなどの原料製造・販売促進

2) 間伐材の有効活用

- ・資源の有効活用と森林整備の促進





2ー③事業活動で取り組む環境経営

3. 環境物流事業部

1) 国産材(間伐材)利用によるCO2 排出量削減

- ・間伐材を利用したパレット「グリーンパレット」
の製造・販売
従来のプラスチックパレットよりCO2排出量を
97%削減



2) 物流機器の3R(リユース・リ フォーム・リサイクル)

- ・間伐材パレット(グリーンパレット)の使用
を促進
- ・補修による長期使用(King of REUSE)
- ・使用済みのパレットを回収



取組で未来をクリエイトする

FULUHASHI
EPO

2-③事業活動で取り組む環境経営

4. 新分野への挑戦・発展

1) 新林業

- ・間伐作業による森林整備
- ・地産地消による資源の有効活用
- ・森林再生によるCO2削減の促進

森林再生

間伐材の活用により、森林の再生・保護

エネルギー
軽減

プラスチックパレットは、
較し製造時の消費エネルギー
削減
二酸化炭素排出量削減

花粉症
軽減

国産のスギ材利用
によるスギ花粉飛
散量減少

リサイクル

補修が可能であり、継続して使用できる。
パレット使用後も木質チップとしてリサイクルし、有効活用

2) 農業

- ・安心・安全な作物の提供
 - ・地産地消、持続可能な農業への貢献
- 2009年、試験農場にて収穫野菜の販売開始



秋の収穫祭の様子



取組で未来をクリエイトする

FULUHASHI
EPO

3. 今後の課題と活動

1. 4分野10原則の実現を目指した「CSR(企業の社会的責任)活動」の促進
→2010年1月、社員へ行動指針カードを配布。
エコモチ活動参加により社員の環境活動と社会貢献の推進。
2. 林業、農業の更なる推進によるCO2削減へ貢献
→2010年三重県菰野にて、稲作開始。
3. 清掃活動、間伐体験等の社会活動への参加による社会貢献の推進
→地域清掃活動への積極的な参加。緑化運動活動の活性化。
4. あいちCO2排出削減マニフェストの目標達成にむけての活動強化
→環境品質管理委員会を中心に、2011年3月の期限に向けた活発な活動。
5. 「企業の森づくり」計画に基づいた活動の実施
→間伐・植林体験、環境教育の計画的実施。